

消防施設整備5カ年計画（第10次）

平成29年～33年

現況

昭和47年に第1次消防施設整備5カ年計画を策定以来、平成24年度に第9次計画を策定し、順次整備充実を図ってきた。

平成22年3月に六合村との合併により、現在における整備状況は、消防ポンプ自動車9台、可搬動力ポンプ17台、可搬動力ポンプ積載車17台を有し、実態調査表における国の充足率は、83.3%となっている。

消防水利においては、防火水槽424基（基準にあったもの318基）消火栓385基であり、毎年増加しているが、有効水利確保のため今後も引き続き整備促進を図る必要がある。

消防機械器具については、各種火災に対応できる機械器具の導入と充実を図ってきているが今後も引き続き整備充実を図っていく必要がある。また自動車ポンプ及び積載車は4輪駆動車が導入されてきて平成17年度に第4分団第1部に積載車が更新され、全ての部において4輪駆動車が整備された。

なお、消防ポンプ自動車、可搬動力ポンプ、可搬動力ポンプ積載車については、耐久性の向上が認められるところであり、耐用年数の延長を図ってきたところである。

さらには、近年の消防団員については、全国的に団員の不足が問題となっており、当町においてもある地域で定員確保が難しい状況であるが、地域住民の安全・安心の確保について、部の統廃合等を考慮しながら、団員の確保に努めていかななくてはならない。

計画

- 消防ポンプ自動車、可搬動力ポンプ及び可搬動力ポンプ積載車については、老朽化の解消と消火能力の向上を図るため、耐用年数を定めて計画的に更新整備する。耐用年数については、平成21年1月に開催された消防委員会において、更新期間を2年延長した経緯があり、消防ポンプ自動車（4輪駆動車のCD-I及びII型）20年、可搬動力ポンプ積載車（4輪駆動車）20年、可搬動力ポンプ20年とする。また、消防ポンプ自動車（4輪駆動車のCD-I型及びII型）、可搬動力ポンプ積載車（4輪駆動車）については、次期更新時にも同様の4輪駆動車に対応することとする。
- ホースの整備については、今後も不良ホースの補充を行うため逐次整備する。
- 防火水槽については、消防水利確保のため、当初予算で3基分確保する。
- 消火栓については、当町の水道事情を考慮しつつ、上下水道課と連携し整備を推進する。
- 機械器具置場及び詰所については、昭和47年から整備を実施し、全ての部で整備されてきたが、今後においても消防機械器具を最良の状態に保管するとともに、消防活動の拠点としての詰所の整備充実を推進する。
- 消防用ゴム長靴については、訓練及び火災現場における事故防止のため随時補充する。
- アポロキャップとTシャツについては、消防団のイメージアップと機能性を向上させるため、定期的な整備を行う。
- 上記のほか、必要に応じた消防施設等の整備を推進する。

消防施設設備整備計画

年 度 種 類	2 9	3 0	3 1	3 2	3 3	備 考
消防ポンプ自動車	1	2				
可搬動力ポンプ積載車			3	1	1	
可搬動力ポンプ			2	1	1	
防火水槽	3	3	3	3	3	
消防用ゴム長靴	5 0	5 0	5 0	5 0	5 0	新入団員及び補充分
ホース	2 0	2 0	2 0	2 0	2 0	
Tシャツ			3 4 8			
アポロキャップ		3 4 8				

消防ポンプ自動車・可搬動力ポンプ及び積載車更新計画

分団	部	種別	更新年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	総合点検	次期更新	S D タイヤ更新	備考
第1分団	1	自	10		○				40	50	37	中之条
	2	自	13					○	43	53	29	伊勢町
	3	自	14						24	34	30	西中之条
	4	自	8		○				40	50	37	青山
	5	ポ 積	20 8						28 40	40 50		
第2分団	1	自	20						30	40	34	山田
	2	ポ 積	20 20						30	40 40	34	折田
	3	ポ 積	24 24						34	44 44	31	上沢渡
	4	自	24						34	44	31	下沢渡
	5	ポ 積	20 11					○	30	40 51		下四万
	6	自	15						25	35	31	四万温泉
第3分団	1	ポ 積	24 24						34	44 44	31	岩本 大道
	2	自	9	○					39	49	36	五反田
	3	ポ 積	23 23						33 33	43 43	30	蟻川
第4分団	1-1	ポ 積	13 17					返納 返納		33 37		平
	1-2	自	19						29	39	33	横尾
	2-1	ポ 積	20 8					返納 返納	30	40 28	32	大塚
	2-2	ポ 積	23 23						33	43 43	30	赤坂 栃窪
第5分団	1-1	ポ 積	13 13					○ ○	43	53 53	40	詰所(小雨)
	1-2	ポ 積	12 12				○ ○		42	52 52	39	詰所(赤岩)
	1-3	ポ 積	11 11			○ ○			41	51 51	38	詰所(八幡)
		ポ 積	63 63						31	31 31	31	車庫(湯久保)
	2-1	ポ 積	21 21						31	41 41	35	詰所(引沼)
		ポ 積	4 4						41	41 41	31	車庫(田代原)
	2-2	ポ 積	11 11			○ ○			41	51 51	38	詰所(根広)
		ポ 積	61 61						31	31 31	31	車庫(和光原)

※ 自：自動車ポンプ（20年経過年度に更新・10年経過年度に総合点検）
 ポ：可搬動力ポンプ（20年経過年度に更新・10年経過年度に総合点検）
 積：可搬動力ポンプ積載車（20年経過年度に更新）
 （スタッドレスタイヤ：7年毎に更新）

消 防 団 概 要

1 消防団員数の推移

昭和30年 4月15日	4か町村合併により	
昭和32年 9月28日	副団長1名増(副団長4名)により	645 人
昭和40年 9月 1日	団組織の改革により	646 人
昭和41年 4月 1日	第2分団第6部(四万)10名増により	373 人
昭和43年12月 1日	第1分団第1部(中之条)第2部(伊勢町)各5名増加により	383 人
昭和55年 4月 1日	副ラッパ長新設により	393 人
昭和62年 4月 1日	団組織の改革により	394 人
平成14年 4月 1日	副団長1名増により	304 人
平成22年 3月28日	六合村との町村合併により	305 人
平成26年 4月 1日	第5分団の定数見直しにより32名減	415 人
平成29年 4月 1日	副団長1名減	383 人
	第5分団の部統廃合により14名減	
	第2分団第6部(四万)5名減	
	第4分団第1部(平、横尾)第2部(大塚、赤坂)各5名減	353 人
平成30年 4月 1日	第1分団第4部第5部の部統合により5名減	348 人
平成31年 4月 1日	副団長1名増により	349 人

2 団の組織 (令和元年10月27日現在 定員:349名 実員:320名)

